

教えるは 学ぶの 半ばなり

R6 南信教育事務所だより

教学半也



令和6年9月26日
No.9

初任研、初任研Co.
5年経験者、メンターチーム
初任者に関わる読者対象

今回は、教師力向上研修Ⅱ・Ⅳの様子をお届けします。
裏面では、参加者の具体的な学びの様子を紹介します。



実践記録を持ち寄り、互いに学び合う様子

6月25日（火）に行われた本研修では、初任者と5年経験者が、これまでの研修を通して設定してきた自己課題について、持ち寄った資料（実践記録）を基に意見交換を行いました。



諏訪会場



下伊那会場



上伊那会場

この研修の目的は、「自己課題の解決の参考とする(初任者)、自己課題の解決に向けた見通しをもつ(5年経験者)」ことです。初任者も5年経験者も自分が目指す授業をより明確にするために自己課題を設定し、研修を積み重ねています。

南信地区全体で250名を超える初任者・5年経験者が互いの実践記録や日頃の悩み等を持ち寄り、対話を通して上記の目的に迫るからこそ、翌日からの授業に生かそうという思いや見通しをもつ姿が見られました。次ページでは参加者の具体的な学びの様子を紹介します。初任者、5年経験者とメンターチームを含む、全ての先生方、これからも共に歩みながら、互いに学び合い、学び続ける関係を大切にしていってほしいと思います。



課題解決の参考とした初任者清水先生の学び



清水先生

自己課題は「**教師が話し過ぎるのではなく、子供が自分で考えたり、友と考えたりする時間を増やしていくこと**」です。自分はいつも授業中に話し過ぎてしまって、それにチョークの色も、子供じゃなくて自分が大事だなんて思うことを赤で書いてしまうんです。このままじゃまずいなんて思いつつ...

例えば、授業の中で**子供たちが強く共感して、納得した時**を捉えて、そういう場面でこそ、板書の色を変えて強調してみたらどうかなあ。

そうすると**子供が自分で考えてる**って実感ももてるし、その色の違いがきっかけで**もっと考えられる**かも。



5年経験者の先生方

確かにそうですね。そんな風に子供の声や反応を取り上げて板書にもつなげていけば、段々と教師よりも**子供たちが話す授業**になっていくかもしれないですね。早速実践してみたくまりました。

【研修を終えた清水先生の振り返り】

ぼんやりとしていた**自己課題**が、**段々とはっきりしてきました**。授業づくりにおいて子供の声や反応を大切にすることが、**自己課題の「自分で考える、友と考える授業」につながりそう**だと思うので、学んだことをすぐにクラスに帰って実践していきたいです。

課題解決の見通しをもった5年経験者山浦先生の学び

ICTの利用が自己課題です。ICTを使っていこうって言われているんですけど、なかなか使えていなくて。ICTに関わることを情報収集できればいいなと思ってきたのですが、みなさんは使えていますか？

全体の前でなかなか考えを発することができない**子供の意見を教師側が把握したり、子供同士の考えをつなげたり**することに使っています。

動画で提示された自分の姿を見返すことで、**次の課題設定につながったり、振り返ったり**することができました。とにかく使うことを心掛けています。

ICTは悩んでいても進まないし、変わらないから**とにかくやってみる、使ってみるが一番**ですね。使う目的を忘れず、挑戦しながら**ICTの活用をよりよいものにしていきたい**と思います。

ICTの活用について、「やらないよりもまずはやってみる」と考えながらも、使う目的や狙いを明確にすることを大切にするという見通しをもつことができた山浦先生でしたが、研修の終わりにこんなことを口にしました。

実は、今日の研修には**「もう1つの課題」**をもってきていました。それは、「**初心に返ろう**」って言うことです。5年前から、授業もたくさんやってきて、分かってきたこともあれば、相変わらず悩んでいることもあるんですけど、今日お話しした先生方の**学び続ける熱意にふれて**、やっぱり教師は「**ぬるま湯に浸かっていちゃいけない**」って改めて思いました。だからこそ、私も**これからもずっと学び続けていきたい**です。



山浦先生

【研修を終えた山浦先生の振り返り】

この研修には「ICTの利用」もそうですが、「**学び続ける（初心に返る）**」ことを大切に**参加しました**。初任の先生から、5年前の初心を思い出すことができました。みんな似た悩みをもっていることも分かって、でも向上心があって、私にとってはすごく触発された研修会になりました。ICTの活用についてもすごく参考になりました。これからも今日お話しすることができた先生方のように、**私も学び続けていきたい**です。

研修に参加された先生方が、今回の研修で得たことを各学校で実践されている頃かと思えます。その実践から見てきたこと、立ち止まったことなどを校内の職員間で改めて話題にしながら、**みんなで学び続けていきましょう**。



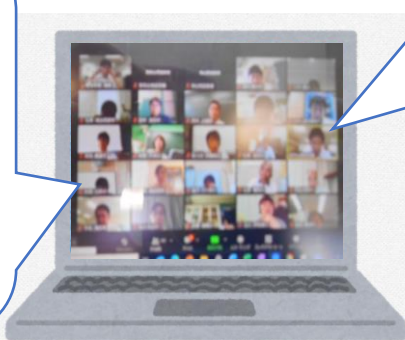
ひろげ つなげ 一歩踏み出す

南信地区（諏訪・上伊那・下伊那）の研究主任の先生方がオンラインでつながり、自校の研究推進の取組を語り合う研究主任研修会を開催しました。「全校の先生が思いを共有し、同じ方向を見て研究を進めるためにはどうしたらよいのだろう」など、さまざまな悩みを抱えながらも、これまでの取組を語り合うことで、2学期の校内研究にどうつなげていくのか考え、着実に歩いていこうとする先生方の姿がありました。

協議Ⅰ

全校研究テーマの達成や各校の課題解決に向けて、グループで自校の研究推進の取組を紹介し、今後どのように校内研究につなげていくのか考えました。

「児童が主体的に学習に取り組むことができるような支援」について考えています。全校の先生で話し合い、**子供が問いをもてる導入の工夫や子供が見通しをもてるように単元や授業の中で学習問題に対する予想をする時間を位置付けるように**しました。



全校の先生で研究を進めていけるように、部会で話したことを**研究通信で紹介したり、職員会で短時間、授業中の子供の姿を語り合ったりする時間**をとるようにしています。

研究主任として、**先生方の主体的な姿を引き出すことが大切になる**と感じました。本校の研究テーマである「深い学び」について、教科等に**応じた見方・考え方を働かせた子供の具体的な姿を職員間で共有すること**、また、公開授業において「**参観の視点**」を明確にすることが研究テーマ達成につながると感じました。（参加者の感想）

協議Ⅱ

さらなる研究推進にむけて、①探究する授業 ②主体的・対話的で深い学び ③学習評価 ④ICT活用 ⑤信州型ユニバーサルデザイン ⑥個別最適な学びと協働的な学びの**一体的な充実**について教育事務所からの話題提供を聞き、各校の取組とつなげながら協議しました。

【探究する授業】の話題提供や他校の取組から本校で今年度、重点としている「探究」についてもたくさんヒントをいただきました。どの教科においても「**出会い**」の工夫を通して、子供たちが自らの問いと向き合って調べていくことが探究のサイクルを回す大切な一歩であると改めて感じました。（参加者の感想）

【主体的・対話的で深い学び】の話題提供をもとに本校の実践について改めて見直すことができ、**教科等の見方・考え方を子供たちが働かせることができるよう授業改善を行わなければならない**と感じました。校内の先生方と今回の情報を共有することからはじめていきたいと思ひます。（参加者の感想）

ある研究主任の先生がグループ協議中に語られた、「**考えていることを実践する2学期にしたい**」という言葉が印象的でした。校内の先生方と語り合いながら1学期の研究を振り返り、先生方の「**こうしていきたい**」という思いを**実践につなげる2学期の一歩を踏み出**しましょう。





「みんなで学ぼう」(情報提供)

『外国語教育はこう変わる!』(文部科学省YouTube公式チャンネル)

文部科学省 YouTube公式チャンネル

外国語教育は こう変わる!



新着動画のご案内

小・中・高等学校の授業動画及び解説動画を通して、授業を工夫するヒントや日頃の疑問の解消につなげていただけますと幸いです!



外国語教育はこう変わる!
文部科学省/mextchannel

15本追加!

小学校 [10本]

小学校 外国語

「言語活動を通して」指導するとは?

宮崎県延岡市立旭小学校
長谷寛子教諭と6年生の授業を通して

文部科学省 初等中等教育局
西山 本穂子

解説動画



小学校 外国語

「書くこと」の細かなステップを踏んだ指導の在り方に焦点を当てた授業

初歩の指導の在り方

宮崎市立西池小学校 第6学年
教諭加藤雅之・Frieda Brand(ALT)

授業動画 その1

解説も掲載中!



小学校 外国語

端末及び学習者用デジタル教科書の活用の在り方に焦点を当てた授業

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を求めて

福岡県立上飯橋第四小学校 第5学年
管理員 垣根英樹

授業動画 前半

解説も掲載中!



※他の授業動画や解説動画もご覧ください

教育委員会 [1本]

特別免許状を活用した地域人材の活用

文部科学省

福岡市立江戸崎小学校
ショー・ケイン・デレの先生



中学校 [3本]

中学校 外国語

「話すこと」の指導のポイント

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて

文部科学省 教科調査官
入之内 昌徳

R5.9 掲載動画



中学校 外国語

全国学力・学習状況調査結果から考えるその1
中学校外国語科の指導において大切なこと

言語活動の設定の在り方
小中連携の視点から

文部科学省 初等中等教育局
西山 本穂子

解説動画

その2も掲載中!



高等学校 [1本]

高等学校 外国語

思考・判断し、表現するための仕掛け

理由や根拠を明確にして考えを伝える発信力の育成

大分県立別府鶴丘高等学校
教諭 高平 新樹



CHECK!

関連動画を多数掲載中!
概要欄からご覧ください!